



映画のワンシーンより「浜名湖に向かう車中で外を見つめる  
袴田巖さん」

# 死の恐怖と肉親の愛

## 袴田巖さんと姉の日常を追う

2014年3月の静岡地裁の再審開始決定で釈放され、地元浜松で暮らす袴田巖元被告(79)と姉秀子さん(82)の日常を追ったドキュメンタリー映画「袴田巖 夢の間の世の中」の先行上映会が31日、静岡市葵区御幸町の「静岡シネ・ギャラリー」で実施される。上映後はメガホンをとった金聖雄監督(52)＝東京都武蔵野市＝と秀子さんの舞台あいさつも予定されている。

## 静岡で31日 記録映画先行上映



撮影の傍ら、袴田巖さん(左)と将棋を指す金聖雄監督。金監督は「何度となく挑戦したが、なんと73戦全敗だった」と話す＝いずれも金監督提供

テレビを見たり、時にはボクシングの論評をしたりと、次第に喜怒哀楽を表す袴田さんの姿だった。「死の恐怖による『妄想の世界』を、日常という『現実の世界』がゆっくりと包み込んでいく瞬間を追った」

したが、秀子さんの袴田さんへの接し方だ。2人の食事は別。散歩に行った袴田さんの帰宅が遅くても秀子さんは「ほっときゃいいのよ」とさっぱり。「2人には気持ちの良い距離間があり、巖さんの全てを受け入れ、尊重している(金監督)とかげがえのない弟への愛情を感じた。「この映画は秀子さんの物語でもある」

先行上映会は31日午後1時半(開場は午後1時)から。舞台あいさつは午後3時半から。当日受け付け順先着200人まで。1300円。問い合わせは静岡シネ・ギャラリー(054・250・0288)へ。県内での一般公開は3月19日から、静岡シネ・ギャラリーと浜松市のシネマイラーで。

【荒木涼子】